

平成28年度行政評価（補助金等の見直し）の概要

背景

補助金交付基準

同一団体への補助は4年を目途として見直すこととしている。

第8次総合計画

基本計画を4年毎に見直すこととしている。

行財政改革推進
プログラム2016各種助成制度の見直しに取り組み、
3年間で9千万円の財源を確保することとしている。

スケジュール

評価の視点

「公益性・必要性・効果」から見た補助金等の再点検

市に裁量のある全補助金等約200本
(H28新規, 企業会計への繰出を除く)

各部局による一次評価

- 交付基準との適合性の判定
- 公益性, 効果等の判定

行政評価検討会議による二次評価

(副市長, 総合政策部長, 行革担当部長を中心に構成)

最終評価 (継続・見直し・終了)

平成29年度予算へ反映

一次評価の対象から抽出した補助金等約20本

行政評価懇談会による外部意見聴取

- 透明性・客観性の向上
- 市民の視点からの意見

目指す状態

補助金等に係る行政サービスの水準の適正化が図られ、
財政の持続可能性が確保された状態